

○コンクリート製品と震災がれきを使用した「粘り強い海岸堤防」の取り組み状況

仙台湾南部海岸堤防復旧の取り組みについて

平成29年1月

～『明日へつなぐ』仙台湾南部海岸堤防復旧プロジェクト～

がんばろう！東北

【名取海岸】



▲名取海岸堤防被災状況 北釜（H23.5.27撮影）

○海岸堤防の本復旧（直轄）進捗状況



進捗状況

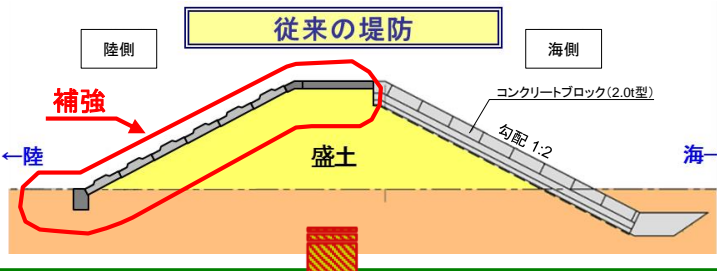
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
堤防整備（全長29km）					
応急復旧完了	完了				
仙台空港区間等		約5km完成			
名取海岸等			約20km完成		
全体					約27km完成

- 平成24年1月 本復旧に着手
- 平成25年3月 約5km復旧完了（重要施設を保全する海岸堤防）
- 平成28年12月末時点 全体延長の約100%（約29km）区間で工事着手済み、うち約96%（約28km）が復旧完了（上記5kmを含む）
- 平成26年3月 名取海岸堤防完成
- 残る一部の区間約1kmは平成28年度完了の予定

① 『粘り強い海岸堤防』

● 今次津波のような巨大な津波が来襲しても、海岸堤防の効果を粘り強く発揮する構造上の工夫

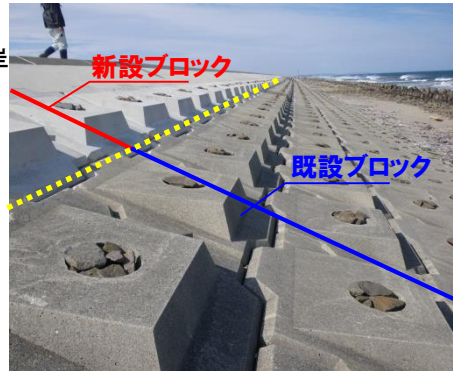
- ・少しでも避難時間を確保
- ・堤防全壊の危機性を低減



② コンクリート製品使用への転換及び再利用

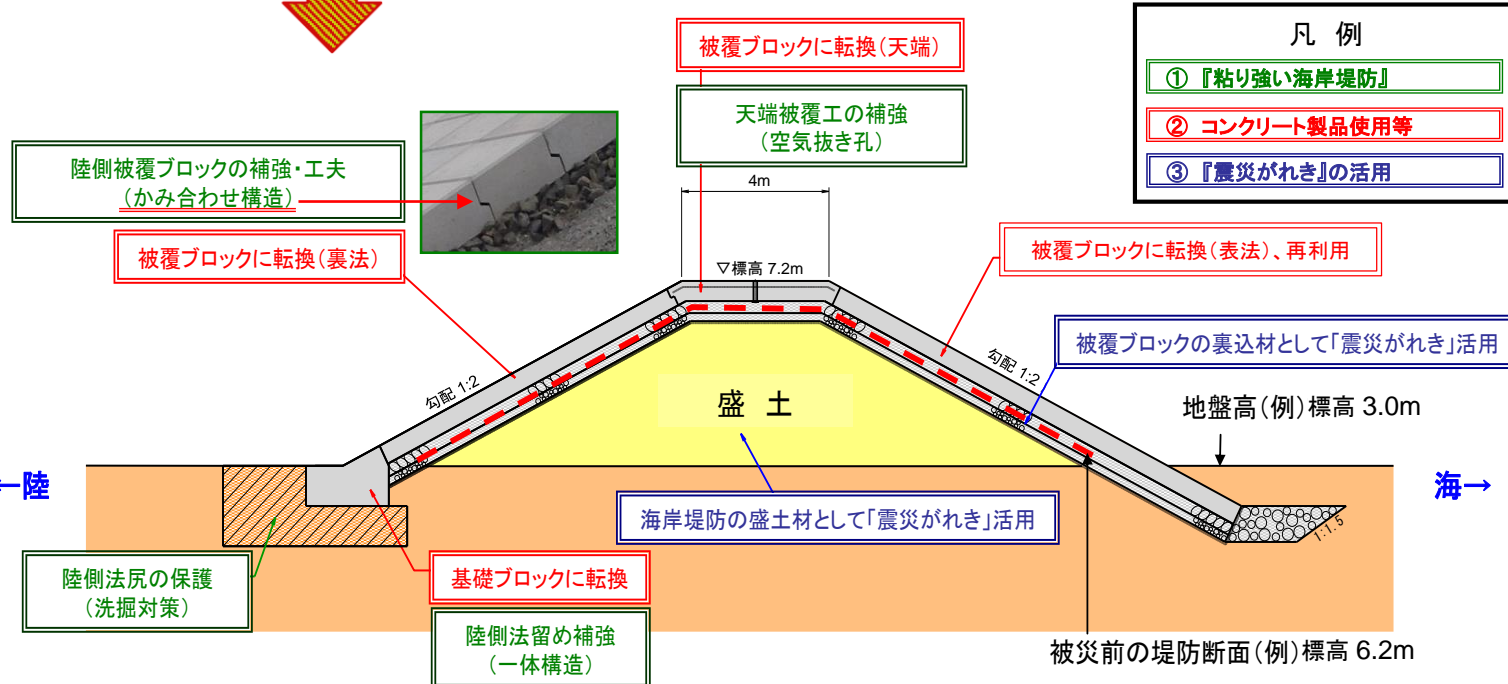
● 生コンクリートの供給不足に対応し、海岸堤防を被覆するブロックなど可能なものはコンクリート製品使用に転換（約30万m³）

● 被災を受けた海岸堤防の既設ブロックを可能なかぎり再利用



凡例

- ① 『粘り強い海岸堤防』
- ② コンクリート製品使用等
- ③ 『震災がれき』の活用



③ 『震災がれき』の活用

● 仙台市内及び名取市内、山元町内で発生した『震災がれき』約30万m³を海岸堤防復旧に活用

【震災がれき活用による効果】

- ① 海岸堤防の建設資材の安定供給
- ② 交通渋滞の緩和・事故抑制、及び生活環境負荷の軽減
- ③ 震災がれき処理の軽減

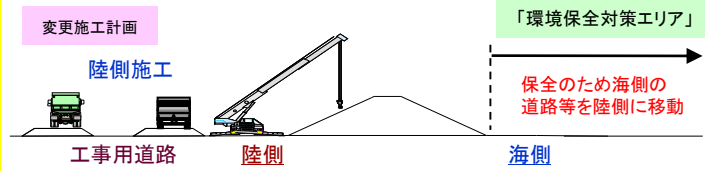


④ 景観・環境への配慮

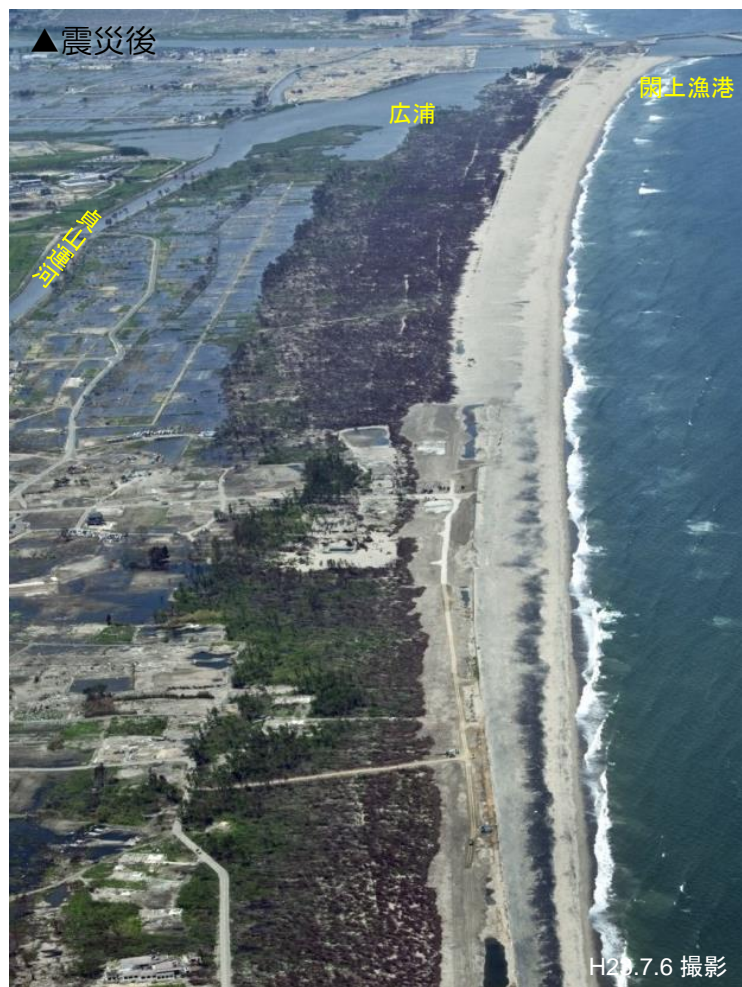
● 自然環境（動植物）に配慮して海岸堤防復旧を進めるため、学識経験者等から助言を得ながら、環境モニタリング・保全対策（環境影響の回避又は低減等の措置）を実施

【具体的な環境保全対策の例】

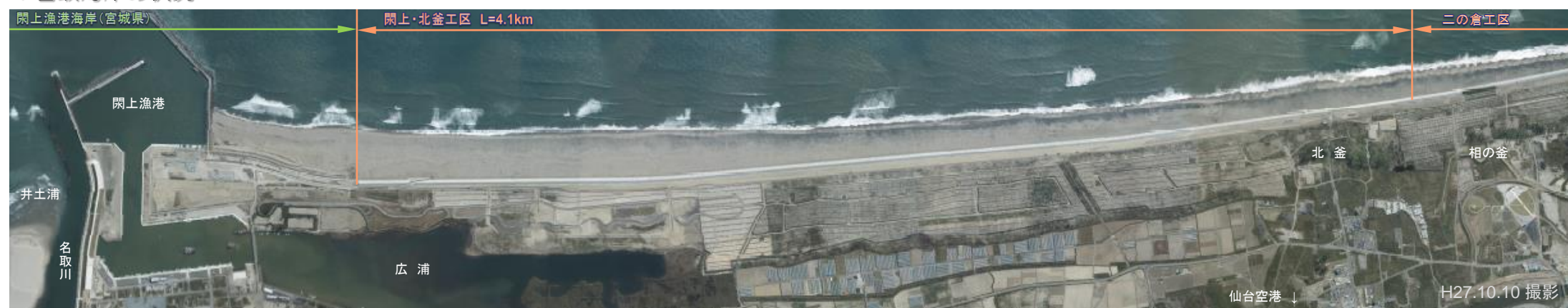
- ① 海岸堤防や工事用道路のルート調整
- ② 施工時期の調整（動植物の繁殖期などを踏まえた施工）
- ③ 資材置き場や施工ヤードの変更



○ 海岸保全施設の被害と復旧状況 (名取海岸)



▼名取海岸の状況



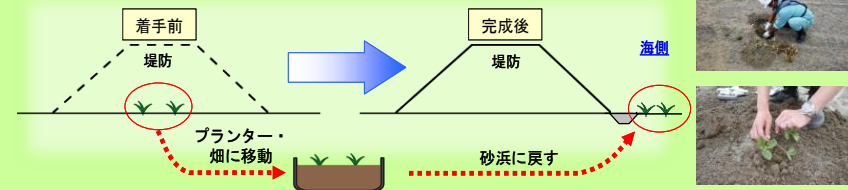
《海浜植生回復促進の取り組み》

～海浜植物(苗・種子播種)利用による海浜植生回復促進～

- 目的: 海岸堤防施工箇所における植生の回復促進
- 試験方法: 施工箇所における海浜植物移植+モニタリング

取り組み「海浜植生」利用イメージ

施工箇所における海浜植物を移植、種子採取・播種し、モニタリングを実施。

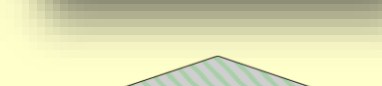


○海岸堤防完成までの工事の様子

【①陸側基礎地盤改良】



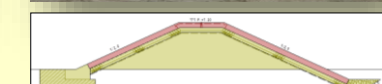
【⑥完成】



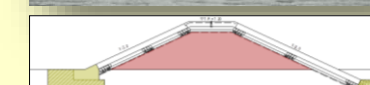
【②海側基礎捨石】



【⑤被覆ブロック設置】



【③築堤盛土】



【④裏込砕石】

